

# 令和2年度協働の地域づくり活動方針について

令和2年8月28日

令和2年度第1回荒尾市地域づくり推進委員会

# 協議事項

- ①新型コロナウイルス対策について
- ②地区別計画の推進について
- ③令和2年7月豪雨について

# ①新型コロナウイルス対策について

## ○新型コロナウイルス感染拡大期から現在までの流れ

- ・ 2月末ごろ 地域活動の中止対応開始
- ・ 3月 地区協議会会議等の中止、規模縮小
- （4月16日） 全国に対する緊急事態宣言発令
- （5月14日） 一部区域の宣言解除（熊本県含む）
- （5月25日） 全国で宣言解除
- ・ 6月以降 地域会議の順次開催（総会、役員会など）
- ・ 6月10日～ 新型コロナウイルスの影響を受けた地域活動に関するアンケート実施 ※参考資料4参照

※（）内日付は全国的な動き

# ①新型コロナウイルス対策について

## ○地域活動に関するアンケートで出た主な意見

- ・ 地域活動の停滞による地域コミュニティへの影響
- ・ 高齢者の交流・健康増進の機会がなくなる
- ・ 既存事業の感染対策の見直し
- ・ 正確な情報発信・感染対策の講習会
- ・ 地域活動再開に関する目安の提示 など

# ①新型コロナウイルス対策について

## ○地域活動における「新しい生活様式」導入指針について

- ・ 緊急事態宣言の解除に伴い、国や県の指針を参考にすると本市の地域活動のほとんどが再開可能である
- ・ 一方で「参加者が1000人以下～」という記載があるように、小規模の地域活動の判断基準として活用しにくい現状がある。
- ・ そこで、県・国の指針を地域活動に適用する際の要点や留意事項を取りまとめ

地域活動における「新しい生活様式」導入指針  
(※参考資料5) を作成

# ①新型コロナウイルス対策について

## ○指針の各地区への説明

指針についての詳しい説明は各地区協議会の定例会・部会等で説明を行う。また、必要に応じて地域活動における新しい生活様式の導入の検討支援や、地域課題の実態把握、対策等の検討を行う。

# ①新型コロナウイルス対策について

## ○協働の交付金の使途（例）について

- ・ 感染症対策備品購入

消毒液・マスク・パーテーション・手袋などを購入し、地区協議会事業での使用、及び自治会活動用に配布などに使用する。

※交付金とは別途、各地域の公民館等における地域活動（サロン活動など）を支援するため、消毒液やマスク等を配付予定。

- ・ 情報発信機能の充実

外出自粛期間中、各種事業や会議の中止により地域活動を発信または、受け取る機会が減ったとの意見があった。対策としては地区内広報紙の発行等が考えられる。

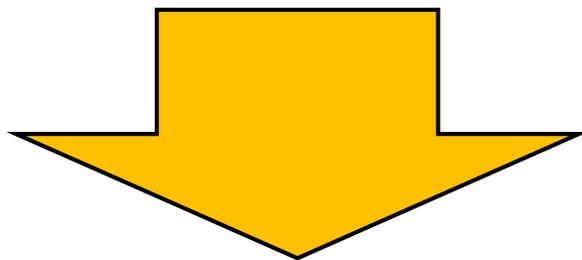
（くらしいきいき課：広報紙の新規発行支援）

- ・ 地区別計画印刷費

- ・ 災害復興必要備品の購入

## ②地区別計画の推進について

令和2年3月をもって荒尾市地区別計画を策定。各地区の人口データや地域の魅力・課題などが確認でき、地区が目指す姿も定められた。



令和2年度は地区別計画に定め目指す姿の実現に向け、具体的な事業・取り組みを検討していきたい。

## ②地区別計画の推進について

### 地区別計画事業化検討スケジュール

- |        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 8～9月   | 個別打合せ（地区協会長、くらし、地区担当）<br>事業検討の可否について |
| 10～11月 | 定例会・役員会で協議<br>取り組む分野を決定              |
| 12～1月  | 専門部会等で事業化検討                          |
| 2～3月   | 事業計画・予算化                             |

## ②地区別計画の推進について

### 地域福祉部会の設立について

- ・各地区の自治会単位ではいきいきサロンや健康体操、地域福祉拠点整備など地域の福祉の向上に取り組まれている。
- ・いきいきサロンや要支援者支援など自治会単位での取り組みが望ましい一方で、地区全体の福祉の向上に取り組むためには、情報共有や相談のできる専門部会の有用性は高いと思われる。
- ・地域福祉部会設立の際には、コーディネーターとして荒尾市社会福祉協議会との連携のもと実施予定。

# ③令和2年7月豪雨について

## 被害状況 ※令和2年8月13日現在

○1時間最大雨量 70.5mm（6日16:00～17:00）

【参考】30年7月豪雨 52.0mm

○住家被害

床上浸水 128件

床下浸水 222件

○その他

道路冠水 14件

土砂災害 20件 など

○避難所関係

避難所最大開設数 21か所

避難者累計 704名

# ③令和2年7月豪雨について

## 被害状況例



岩本橋付近



本井手



大島



倉掛

### ③令和2年7月豪雨について

#### 令和2年7月豪雨に関する支援一覧（7月20日時点）

- 被災証明・罹災証明の発行（防災安全課）
- 被災者への市営住宅の一時提供（建築住宅課）
- 災害ゴミの無料受付（環境保全課・リレーセンター）
- ふるさと応援寄付金メニュー追加（くらしいきいき課）  
ふるさと納税の用途メニューに大雨災害緊急支援を目的とするメニューを追加
- ボランティアセンター立ち上げ（社会福祉協議会）  
市民向け 7月10日～ 市外向け 7月13日～ ※8月8日終了

### ③令和2年7月豪雨について

#### 令和2年7月豪雨に関する各種支援策（8月25日時点）

- 被災住宅の応急修理・エアコン購入費補助（建築住宅課）
- 災害見舞金・被災者支援特別給付金（福祉課）
- 災害援護資金貸付・被災者生活再建支援金（福祉課）
- 生活移動手段支援金（くらしいきいき課）
- 各種税・料の免除

など